

東日本 APM ニュース

ASSOCIATION OF PLASTICS MOLDERS, EAST JAPAN

第557号 2026. 1/6

一般社団法人 東日本プラスチック製品工業協会
東京都中央区築地3-12-5 築地小山ビル TEL 03(3541)4321
URL: <http://www.ejp.or.jp> FAX 03(3541)4324
発行人 笹岡 健治

目次	次
2026年 新年のご挨拶..... 1	開催..... 4
連合会会長 年頭のご挨拶..... 2	事務局レポート..... 5
「第1回プラスチック成形加工研究会」を開催 3	バイオプラスチック (その3) 一生分解性プラスチック..... 9
令和7年度 前期技能検定合格証書伝達式を	年賀広告..... 11

2026年 新年のご挨拶



一般社団法人 東日本プラスチック製品工業協会
会長 住田 嘉久

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、健やかに新春を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。平素より当協会の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

振り返りますと、2025年はプラスチックを取り巻く環境が大きく変化した一年でございました。

持続可能性や循環型社会の実現に向けた規制や市場の要請が一層強まり、私たち成形加工業に携わる者にとって、従来の延長線上では対応しきれない新たな課題が次々と顕在化いたしました。長引く人材不足、原材料の調達難やコスト上昇、リサイクル材の品質安定性、さらには国際的な環境基準への適合など、いずれも業界全体で知恵を絞り、

協力して乗り越えていくべきテーマであります。

そのような状況下において、当協会では初めて「プラスチック成形加工研究会」を開催いたしました。会員の皆様から多くのご参加をいただき、活発な議論と情報交換が行われましたことは、協会活動の新たな一歩として大変意義深いものであります。プラスチック成形加工研究会を通じて、最新技術の紹介や射出成形の可視化、不良対策の事例共有、さらには現場で直面する課題を率直に持ち寄ることで、互いの知見を高め合う場となったことに、改めて厚く御礼申し上げます。

迎える2026年は、こうした取り組みをさらに発展させる一年と位置づけております。具体的には、会員の皆様への情報発信を一層充実させることを目標といたします。学術的なアプローチから始まり、新しい技術の紹介や市場動向の分析など、日々の業務に直結する有益な情報をタイムリーにお届けできるよう努めてまいります。また、昨年に続き各種成形技能講座に加え「プラスチック成形加工研究会」を継続開催し、テーマを拡充しながら

定期的に交流の場を設けることで、会員の皆様が安心して相談できるネットワークを築いてまいります。

プラスチック成形加工業は、社会の基盤を支える重要な産業であり、同時に環境対応や技術革新を常に求められる挑戦的な分野でもあります。だからこそ、協会としては会員の皆様と共に歩みを進め、知識と経験を共有し合いながら、持続可能で競争力のある産業を築いていくことが使命であると考えております。

本年も、東日本プラスチック製品工業協会はプラスチック成形技能検定だけでなく、「情報発信」「技術交流」「課題解決」を柱に活動を展開し、皆様の事業の発展に寄与できるよう尽力してまいります。どうぞ引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、2026年が会員の皆様にとりまして、健康とご多幸に満ち、事業のさらなる飛躍の年となりますことを心より祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

年頭のご挨拶



全日本プラスチック製品工業連合会
会長 原 直 宏

新年あけましておめでとうございます。

平素より当業界の発展に向け、皆様から多大なるご支援とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

プラスチック加工業界を取り巻く環境は、資源循環型社会への移行が加速し、環境規制やリサイクル関連制度の見直しが進むなど、かつてない転換期にあります。また、原材料価格の変動、エネ

ルギーコストの上昇、人材確保の難しさ、サプライチェーンの変化など、企業を取り巻く課題は多岐にわたっております。

そのような状況だからこそ、私たちは新たな価値創造に向けた挑戦を続けていく必要があります。環境配慮型素材の活用拡大、カーボンニュートラルに向けた工程改善、デジタル技術を活用した生産効率の向上、安全・品質管理の高度化など、業界全体が協調して取り組むべきテーマは数多く存在しています。これらの課題と向き合いながら、社会から信頼される産業として持続的に成長するためには、企業単独の努力だけでなく、業界内の連携がますます重要となります。

2026年が、業界全体の知見と技術を結集し、新たな飛躍の年となることを心より期待しております。本年も変わらぬご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

「第1回プラスチック成形加工研究会」を開催

東日本プラスチック製品工業協会では、令和7年10月15日（水）東プラ健保会館において、プラスチック産業の発展と環境への貢献、最新技術の共有等を目的に「第1回プラスチック成形加工研究会」を開催いたしました。

この研究会は、参加者に最新技術を紹介し、知識の向上や会員相互の技術交流の機会を提供するものです。これにより、持続可能なプラスチック利用の促進及び樹脂成形に携わる企業の社会的地位の向上を目指しています。

研究会の次第は以下のとおりです。

13：00～13：10 開催挨拶

東日本プラスチック製品工業協会会長

住田 嘉久

13：10～13：35 講演①

「樹脂成形時発生ガスの検証」

同上 住田 嘉久

13：35～14：00 講演②

「プラスチックごみの現状と取組報告」

東日本プラ工業協会環境委員長 上村 俊彦

14：00～14：25 講演③

「産総研サーキュラーテクノロジー実装研究センターにおけるプラスチックリサイクルの取り組み」

産業技術総合研究所 副研究センター長

萩原 英昭 様

14：45～15：35 講演④

「難燃のメカニズムの基礎」

難燃材料研究会会長 大越 雅之 様

15：40～17：00

基調講演：「金型内成形現象の可視化実験解析－成形不良現象を中心に－」

東京大学名誉教授・山形大学客員教授

YOKOI Labo 代表・工学博士

横井 秀俊 様

会場には会員企業6社（ストーブリー株、ムラテックフロンティア株、山下電気株、SHPP ジャパン合同会社（SABIC）、仁誠プラス株、（株）日本油機）が自社の製品等を出展し、参加者に情報提供を行いました。

また、当日は初めての開催にも関わらず87名の方々にご参加いただき、研究会は盛況のうちに終



了しました。懇親会には講師の皆様にもご参加いただき、活発な情報交流・意見交換が行われました。

本研究会は2026年も継続開催し、テーマを拡充

しながら定期的に交流の場を設けていきたいと思っておりますので、引き続きのご参加をお待ちしております。



住田会長



上村委員長



萩原様



大越様



横井様

令和7年度 前期技能検定合格証書伝達式を開催

令和7年12月5日（金）に東プラ健保会館にて「令和7年度 前期技能検定合格証書伝達式」が開催されました。当日は今回の検定作業に携わられた東京都技能検定委員の皆様、指導員・補佐員の皆様のご参加のもと、東京都職業能力開発協会技能検定部長の土本哲也様にもご来賓としてご出席いただき、新たに1級プラスチック成形技能士（射出成形作業）に合格された11名及び2級プラスチック成形技能士（射出成形作業）に合格された47名の方に合格証書が交付されました。出席され

た1級技能士合格者8名には、住田嘉久東日本プラスチック製品工業協会会長から、2級技能士17名には土本部長から合格証書が手渡されました。最後に首席検定委員の小泉博義様から今回の技能検定実技試験の講評をいただき、伝達式が終了しました。その後の懇親会では、合格者を囲み、その努力を労い、情報交換を行いました。当協会も合格者の皆様と共に、切磋琢磨してプラスチック製品製造業界の更なる発展に努めてまいります。



住田会長



土本部長



小泉首席検定委員

事務局レポート

■第421回 理事会議事録

1. 日時 令和7年11月13日（木）
14時30分～15時20分
2. 場所 東プラ健保会館 3階第一集会室
東京都台東区柳橋1丁目1番4号
3. 出席者
- | | | |
|-------|-------|-------|
| 大野 泰昭 | 住田 嘉久 | 上村 俊彦 |
| 肥後 武展 | 原田 裕司 | 橋本 盛介 |
| 野坂 晃司 | 秋野 勝彦 | 嶋田 修二 |
| 石川 忠彦 | 平塚 隆文 | 伊藤 宏使 |
| 曾我部 大 | 河合 清美 | 小菅恵美子 |
| 滝口 裕 | 福田 晴通 | 早川 聖人 |
| 平田 照雅 | 内山 三男 | 笹岡 健治 |
- 以上出席理事21名（理事総数32名）
中小路好宏 以上オブザーバ1名
（福島県プラスチック工業会）

4. 住田会長ご挨拶

本日はお忙しいところ、第421回理事会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

10月15日に開催した「プラスチック成形加工研究会」は多くの皆様にご参加をいただき、成功裏に終了しました。参加いただいた理事の皆様にも改めて御礼を申し上げます。基調講演をいただいた、東京大学横井名誉教授からは、「これまで30数年金型内の可視化を研究・発表してきたが、まだまだ知られていないことを実感したので、来年も是非参加したい」とのお言葉をいただきました。また、出展いただいた企業様にも「多くの方に見ていただき良かった」と、大変好評でした。来年も継続して研究会の開催を検討して参りますの

で、引き続き皆様のご協力・ご参加の程よろしくお願いたします。

最後になりますが、本日も円滑な進行にご協力いただきますようお願い申し上げ、挨拶とさせていただきます。

5. 専務理事より定数の報告

事務局より理事数32名のうち出席理事は21名であり、定款第33条の規程により過半数の理事の出席があり、本理事会が有効に成立している旨の報告がなされた。

6. 議長選出

定款第30条の規程により会長が議長に選出された。

7. 議事録署名人

議長は、定款第34条により、同人が記名捺印をすることで、了承された。

8. 議 事

議題1. 経過報告(前回理事会以降の主要行事)

(1) 役員会等の開催

- | | | |
|--------|---------------|---------|
| 9月18日 | 第420回理事会 | 東プラ健保会館 |
| 10月15日 | プラスチック成形加工研究会 | 東プラ健保会館 |

(2) 部会・委員会の開催

①技能検定運営委員会

- | | | |
|--------|-------------------------|-----|
| 10月4日 | 検定金型評価・検討修正打合せ | 板橋校 |
| 10月24日 | 令和7年度技能検定運営委員会 | 板橋校 |
| 10月24日 | 前期技能検定実施運営上の問題
点の検討会 | 板橋校 |

②能力開発推進委員会

10月4, 5, 18, 19日 11月8, 9, 15日

オーダーメイド講習

板橋校

10月22日 認定訓練実施状況調査

協会会議室

11月16日 3級技能検定実技試験受検用講習会

板橋校

③青年経営研究会 (JPO)

10月14日 役員会 銀座シシリア 銀座店

11月7日 役員会 千里浜 本店

④協同組合

9月18日 第68回理事会 東プラ健保会館

(3) 全日本プラ連合会

10月30日 第206回理事会

安保ホール (名古屋)

(4) 支部会等の開催：なし

以上議題1について諮ったところ特に異議なく了承された。

議題2. 会員の入会・退会承認の件

(1) 入会の部 なし

(2) 退会の部

正会員 3社

会社名 (有)開成工業

退会理由 会社都合

会社名 泉商事(株)

退会理由 会社都合

会社名 (株)第一化成製作所

退会理由 会社都合

(3) 会員の増減

	正会員	賛助会員	計	団体会員
前回	158社	72社	230社	7団体
増加	0社	0社	0社	0
減少	3社	0社	3社	0
現在	155社	72社	227社	7団体

以上議題2について諮ったところ特に異議なく

了承された。

議題3. 令和8年新年賀詞交歓会開催の件

令和8年1月15日(木) 上野精養軒で開催

新春講演会 14時55分～16時05分

3階「桜の間」

講師 鳥内秀晃様 (関西学院大学アメリカンフットボール部前監督)

貢献者表彰式 16時10分～16時20分

3階「桜の間」

賀詞交歓会 16時20分～18時00分

※参加費 お一人様 10,000円

以上議題3について諮ったところ特に異議なく了承された。

【その他報告事項】

以下の項目につき専務理事から説明を行った。

①2025年7～9月期景況感調査結果／景気ウォッチャー調査

②新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画2025年改訂

②-1 サプライチェーン全体での支払の適正化について

②-2 公正取引委員会・中小企業庁共同開催～下請法は取適法へ～改正ポイント説明会のご案内

②-3 公取委、トヨタ本体に改善要請 金型保管で子会社に勧告

②-4 賃上げ・最賃 中小企業・小規模事業者への支援策について

③JAIM (工業製品製造技能人材機構) について

④「産業別高齢者雇用推進事業」について

■東日本プラスチック製品工業協会・製品技術部会&埼玉県プラスチック振興会・21世紀部会合同工場見学会の開催

2025年11月21日(金) (株)シード様のご協力により、合同工場見学会を開催しました。17名の会員にご参加いただき、コンタクトレンズの製造工場

を見学しました。皆さんはコンタクトレンズの作り方をご存じでしょうか？①まずレンズを作るためのプラスチックの型を射出成形で作ります。②フロントカーブの型にコンタクトレンズの原料を注入しベースカーブの型を重ねます。③型に入れたまま数時間熱を加え化学反応でレンズを固めます。④固まったら型から外し水分を含ませて弾力性のあるソフトレンズに仕上げます。当工場では月産6,500万枚のコンタクトレンズ製造能力があり、正社員444名、パート418名と非常に大規模な工場でした。自動化の進んだ製造ラインや全数検査を行う検査機器など最新の設備を大変興味深く見学しました。

製品技術部会では、今後も工場見学会・講演会を企画して参ります。また機会があれば団体会員様との合同イベントも企画したいと思いますので、よろしくお願いいたします。

■ APM 会の開催

2025年11月26日(水)茨城県の金乃台カントリークラブにて、第196回 APM 会コンペを開催しました。優勝は野邊伸一様(エンゼル産業株)でした、おめでとうございます！

APM 会では年3回例会コンペを開催しており、次回は2026年4月です。ご興味のある方は事務局までお問い合わせください。【<https://ejp.or.jp/contact/>】

■ 墨東支部会の開催

2025年12月1日(月)第一ホテル両国「北斎Ⅰ」にて24名が参加し開催されました。「めもと楽団ジジキ」の音曲漫才で盛り上がったあと、各会員の近況報告など、情報交換と懇親を深めました。



■令和8年度前期技能検定（1,2級プラスチック成形・射出成形作業）

毎年、定員がすぐにいっぱいとなりますので、お早めの申し込みをお勧めします。

申込み前に「前期技能検定申請書請求書」で、受検申請書が何枚必要か、当協会までご連絡下さい。

受検申請書は、3月上旬に送付予定です。
 申込期間：会 員 令和8年3月9日（月）
 ～3月31日（火）
 非会員 令和8年3月23日（月）
 ～3月31日（火）

検定実施時期：令和8年8月を予定
 試験会場：東京都 中央・城北職業能力開発センター 板橋校

■新入社員教育講座 プラスチック基礎技術科

当講座は東京都の「中小企業人材スキルアップ支援事業（民間派遣型）」の対象です。受講料の1/2の助成を受けることが可能です（都内に本社または事業所のある中小企業が対象）。ご不明点や詳細については、所在地を管轄する職業能力開発センターや社会保険労務士、事務局へお問い合わせ下さい。

申込期間：令和8年4月3日（金）まで
 実施日：学科コース
 令和8年4月9日（木）～10日（金）
実技コース
 令和8年4月11日（土）～12日（日）
計測コース
 令和8年4月18日（土）

定員：学科コース30名・実技コース24名（射出成形作業）、計測コース20名
 会場：東京都 中央・城北職業能力開発センター 板橋校

■通信教育講座 プラスチック成形技術講座（1・2級技能士コース）

当協会の通信教育講座は厚生労働省の人材開発

支援助成金（特定訓練コース）の対象です。受講料の最大60%の助成を受けることが可能です。ご不明点や詳細については、管轄の労働局や社会保険労務士、事務局へお問い合わせ下さい。

申込期間：令和8年4月1日（水）まで
 実施日：令和8年4月6日（月）

～令和9年3月25日（木）

定員：1級 30名・2級 60名
 受講特典：技能検定 プラスチック成形 射出成形作業の学科試験免除

■東日本プラスチック成形技能士会 会員募集中

プラスチック成形技能士として必要な資質と技能の向上に努め、技能士としての誇りと地位の向上を目指し、プラスチック成形加工業の健全なる発展に寄与することを目的とした会です。

会員資格は、技能検定プラスチック成形職種に合格し技能士の資格を有する方や本会の主旨に賛同し、実施する事業に協力する企業、団体になります。

【主な活動実績】

- ・工場見学（千代田製作所新田工場、ニイガタマ シンテクノ工場（月岡温泉泊）、日精樹脂工業 長野工場、東京都立産業技術研究センター、住友重機械工業千葉工場、本田技研工業寄居工場、シード鴻巣工場）
 - ・セミナー（「低圧成形の実現」、「ドライアイスによる金型洗浄システム」、「ホットランナーソリューション・自動色替えシステム」、「スクリーンの洗浄・洗浄剤並びに各種混合器」、「射出成形現場改善を実現するミスミ新提案」、「㈱レイケンの水処理」、「原価管理の基礎知識」、「プラスチック材料物性表の見方及び試験方法（本間精一先生）」、「RoHs、REACH 規制」、「射出成形技能士に必要な3D-CADの知識」、「工具鋼の基礎知識及び金属材料の特長」）
- ご興味ある方は事務局へお問い合わせ下さい。

バイオプラスチック（その3） —生分解性プラスチック

生分解性プラスチックは、ある一定の条件下で微生物などの働きによって分解され、最終的に二酸化炭素と水に還るプラスチックである。生分解性プラスチックには植物由来と石油由来があるが、植物由来プラスチックの方が多。生分解性プラスチックは化学合成系、微生物産生系、天然物系に大別される。

化学合成系は植物由来原料や石油由来原料から作られるプラスチックである。同系プラスチックにはポリ乳酸(PLA)、ポリブチレンアジペート-テレフタレート(PBAT)、ポリブチレンサクシネート(PBS)などがある。

微生物産生系は植物を原料とし、培養により微生物体内で合成蓄積されたポリマーを精製、回収して作られたプラスチックである。ポリヒドロキシアルカノエート(PHA)と総称している。同

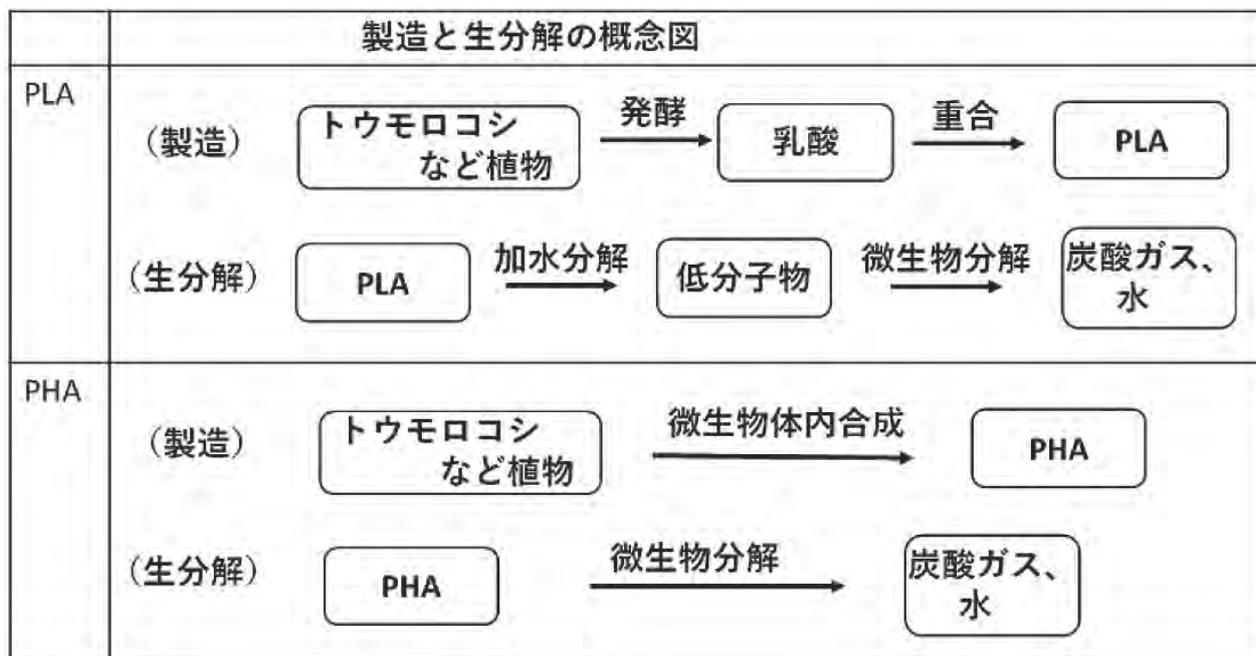
系プラスチックにはポリヒドロキシブチレート(PHB)やポリヒドロキシブチレート-ヒドロキシヘキサノエート(PHBH)がある。

天然物系はセルロース、デンプンなどの植物原料から作られたプラスチックである。セルロース誘導体(+可塑剤)やデンプン系配合物などがある。

次に、PLAとPHAの製造と生分解の概念を図1に示す。

PLAは発酵技術によって作られた乳酸を重合して作られる。PLAは約55℃(PLAのガラス転移温度)以上の温度で水分が存在すると加水分解する。廃棄段階ではコンポスト(肥料)にすると温度上昇し湿気のもとで加水分解した後に微生物によって生分解される。一方、PHAは微生物体内で作られるので、廃棄段階においても微生物に

図1 PLAとPHAの製造と生分解の概念図



よって分解されて二酸化炭素と水に戻る。図2に環境下における生分解挙動を示す¹⁾。図2 (a)は60℃、50% RH 雰囲気中における分子量低下の比較である。PLA, PBAT, PBSなどの化学合成系は加水分解による分子量低下が大きいことが分かる。一方、PHB, PHBHなどの微生物産生系は分子量低下が小さい。図2 (b)は海水中に放置したときの重量変化である。PLAやPBSは海水温度が23℃と低いため分解されず重量変化は認められない。PHBHは重量変化が大きく生分解

が進行していることがうかがえる。

PLAは包装容器、日用雑貨、農業資材などの用途に使用され、廃棄段階でコンポスト処理すると生分解される。PHAは海水中で生分解するので海洋流出リスクが高い容器、包装類、漁具などへの応用が期待されている。

引用文献

- 1) 福田竜司、プラスチックエージ、63 (12) ,p.59, プラスチックエージ社 (2017)

(案山子)

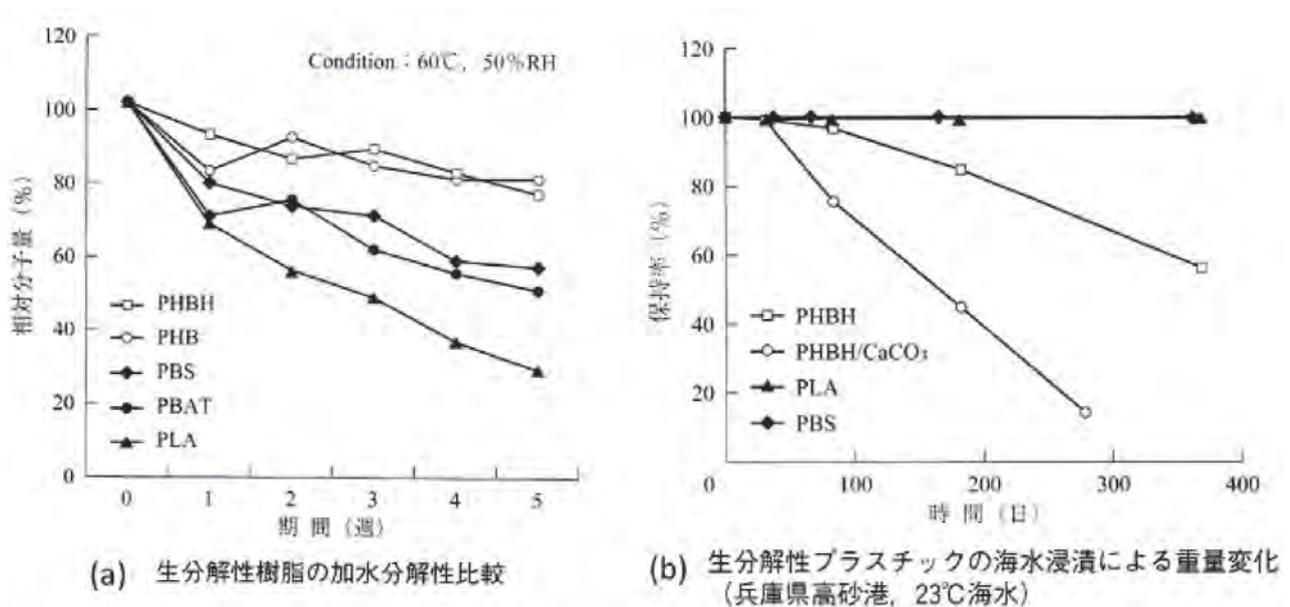


図2 生分解性プラスチックの分解¹⁾



年頭にあたり謹んで皆様のご繁栄とご健勝をお祈り申し上げます

令和八年

謹んで新春のお慶びを申し上げます

旭モールディング株式会社
代表取締役
福田晴通

〒116-0012 東京都荒川区東尾久五-1-21-1
電話 〇三(五八五五)三五六〇

浅間合成株式会社
代表取締役社長 嶋田修二
代表取締役専務 嶋田龍馬

本社工場 〒401-0301
山梨県南都留郡富士河口湖町船津6081-1
TEL (0555)73-2831
FAX (0555)73-2832
http://www.asama-gosei.jp/
P-E-mail:shimach@poplar.ocn.ne.jp

Intertek URAS ISO9001:2015 認証取得

明日の情報システムを想像する ASCOT
株式会社 アスコット
代表取締役社長 吉村紳一

本社 〒340-0021 大阪府中央区大手通1-4-10 大手町フタバビル6F
TEL (06)6944-9211 FAX (06)6944-3233
東京支店 〒110-0016 東京都台東区台東4-27-5 秀和御徒町ビル5F
TEL (03)6870-2250 FAX (03)6870-2253

株式会社荒川樹脂
代表取締役
千代田貢一

〒116-0002 東京都荒川区荒川五-1-39-1-2
電話 〇三(三八九二)五七二二(代)

株式会社イガラシコーカ
代表取締役社長 秋野勝彦

本社 〒216-0002 神奈川県横浜市南区南野1-1-31
電話 〇四四九二〇八二三〇

積み重ねた歴史・最新の技術

株式会社石黒製作所
代表取締役社長 大野泰昭

〒136-0074 東京都江東区東砂6-2-9
TEL 03-5665-7711 FAX 03-5665-7712
URL: http://www.pla-part.com/

株式会社植田電器製作所
代表取締役 植田好司

本社 〒114-0012 東京都北区田端新町2-28-13
電話 03(3893)3376
白岡工場 〒349-0203 埼玉県白岡市下大崎871
電話 0480(92)8484

エンゼル産業株式会社
代表取締役社長 野邊弘一郎

本社 〒132-0024 東京都江戸区芝草1-14-1 交通館芝草ビル3F
電話 〇三(五八七九)三二二七
FAX 〇三(五八七九)三七六四

株式会社エンプラス
代表取締役社長 横田大輔

〒332-0034 埼玉県川口市並木2丁目30番1号
電話 048(253)3131(代)
https://www.enplas.co.jp

令和八年

謹んで新春のお慶びを申し上げます

 <p>大塚産業株式会社</p> <p>代表取締役社長 原田裕司</p> <p>〒120-0065 東京都墨田区東駒形一丁目八十一番二 電話 〇三(三六六)五五六五(代) FAX 〇三(三六六)三二二六五</p>	 <p>かみむら化学株式会社 KAMIMURA CHEMICAL co.ltd.</p> <p>代表取締役社長 上村俊彦</p> <p>URL: http://kamimura-kagaku.com 〒125-0041 東京都葛飾区東金町5-15-2 Tel 03-3600-1313 Fax 03-3600-1315 本社工場 〒340-0822 埼玉県八潮市大瀬5-8-1 Tel 048-996-9401 Fax 048-995-3009</p>	 <p>先進技術とトータルシステムで貢献 株式会社カワタ</p> <p>代表取締役社長 白石 互</p> <p>〒104-0033 東京都中央区新川1-2-10 新川むさしやビル4階 TEL 03-3523-5680 FAX 03-3523-5682</p>
<p>埼玉県プラスチック振興会</p> <p>会長 平田照雅</p> <p>〒303-0844 埼玉県川口市上青木三十一番一十八 FAX 〇四八(二六一)七二五一 埼玉県産業技術総合センター7F</p>	<p>株式会社 SS サトーボーサー</p>  <p>昭太 長 佐藤 亮 代表取締役 佐藤 亮</p> <p>本社 〒174-0074 東京都板橋区東新町 1-17-1 Tel:03-3955-4066 Fax:03-3959-5481 東松山 〒355-0071 埼玉県東松山市大字新郷 70-1 鶴岡 〒997-0011 山形県鶴岡市宝田 1-10-51</p>	 <p>代表取締役社長 平塚隆文</p> <p>株式会社 三光社</p> <p>本社 〒111-0022 東京都台東区柳橋一丁目九十三 FAX 〇三(三八六)三五四八(代) 〇三(三八六)三五七九</p>
 <p>三省物産株式会社</p> <p>代表取締役会長 高階達也 代表取締役社長 森原義明</p> <p>〒103-8339 東京都中央区日本橋一丁目三番二三号 電話 〇三(三二七〇)五七二一 (東京建物日本橋ビル四階)</p>	<p>まだみぬ、世界は、美しい</p>  <p>株式会社シード</p> <p>代表取締役社長 佐藤隆郎</p> <p>〒113-8402 東京都文京区本郷 2-40-2 TEL03-3813-1111 https://www.seed.co.jp/</p>	<p>Shibaura Machine 芝浦機械株式会社</p> <p>代表取締役社長 社長執行役員 最高経営責任者 最高執行責任者 坂元 繁友</p> <p>〒100-8503 東京都千代田区内幸町 2-2-2 富国生命ビル 4F TEL : 03-3509-0200 FAX : 03-3509-0333</p>
<p>Joto LYPRONE</p> <p>城東リプロン株式会社</p> <p>代表取締役社長 横江政洋</p> <p>本社 〒104-0045 東京都中央区築地6丁目19番20号 ニチレイ東銀座ビル9F TEL 03-6281-5936(代) FAX 03-6281-5937 http://www.lyprone.com</p>	<p>ISO 9001登録企業 押出成形</p>  <p>白石工業株式会社</p> <p>代表取締役 白石 創士</p> <p>〒309-1451 茨城県桜川市西小嶋1645番地 TEL 0296-71-4600</p>	 <p>新興化学</p> <p>代表取締役社長 小野寺 誠</p> <p>〒143-0012 東京都大田区大森東 2-34-10 電話 03-3761-2078</p>

 <p>新興産業株式会社 SHINKO IND CO., LTD.</p> <p>代表取締役 末川 清光</p> <p>〒343-0104 埼玉県北葛飾郡松伏町田島東1-17 TEL 048-991-6222</p>	 <p>電話 千 277-0814 話 〇四(七一三三三)〇四七七一</p> <p>代表取締役 曾我部 大上</p> <p>取締役会長 曾我部 大上</p> <p>株式会社 新上</p>	 <p>株式会社スター精機</p> <p>代表取締役社長 塩谷 陽一</p> <p>〒480-0132 愛知県丹羽郡大口町秋田3-133 電話 0587-95-7551 http://www.starseiki.com</p>
 <p>株式会社ソディック</p> <p>代表取締役 CEO 社長執行役員 伊 祐次</p> <p>〒224-8522 横浜市都筑区仲町台 3-12-1 TEL : 045-942-3111 (大代) URL : www.sodick.co.jp</p>	 <p>2色成形の 株式会社 ダイテック</p> <p>代表取締役 伊藤 創</p> <p>〒370-1124 群馬県佐波郡玉村町角淵5206-3 TEL 0270-64-1819 FAX 0270-64-2014 E-mail h-ito@p-daitec.co.jp HP http://www.p-daitec.co.jp</p>	 <p>電話 千 134-0883 話 〇三(三六七五)二七三一</p> <p>代表取締役 蓑輪 透</p> <p>拓水工業株式会社</p> <p>東京都江戸川区中葛西七上二六六一四</p>
 <p>業務用調理機器</p> <p>株式会社 千葉工業所</p> <p>代表取締役 長島 光敏</p> <p>〒273-0048 千葉県船橋市丸山4-53-14 ☎047-438-3411(株) FAX047-438-3413 e-mail: peels@chiba-ind.co.jp URL: http://www.chiba-ind.co.jp</p>	 <p>プラスチックの総合メーカー 天昇電気工業株式会社</p> <p>取締役会長 石川 忠彦</p> <p>〒154-0012 東京都世田谷区駒沢1-16-7 駒沢中村ビル 4階 TEL 03-6805-2577 FAX 03-3487-2578 https://www.tensho-plastic.co.jp</p>	 <p>会長 内山 三男</p> <p>長野県プラスチック工業会</p> <p>〒380-0936 長野市大字中御所字岡田一三二一〇 長野県中小企業会館三階 FAX 電話 〇〇二六(二二二六)一五五一 A X 話 〇二六(二二二六)六一一六</p>
<p>再生ペレット製造・販売</p>  <p>株式会社 日豊化学</p> <p>専務取締役 樋口 政章</p> <p>〒130-0013 東京都墨田区錦糸2-12-1 日豊ビル TEL 03-6825-3081</p>	<p>日鋼YPK商事株式会社</p> <p>代表取締役社長 堤 洋一郎</p> <p>〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-1 ゲートシティ大崎ウエストタワー 10階 電話 03 (5745) 2131 URL https://jsw-nyc.jp</p>	 <p>株式会社 日新化成</p> <p>代表取締役 早川 聖人</p> <p>〒331-0046 埼玉県さいたま市西区宮前町821番地 TEL 048-624-8450</p>

令和八年
謹んで新春のお慶びを申し上げます

令和八年

謹んで新春のお慶びを申し上げます

<p>役に立つ会社 NIPPLA 創立 1934 年 (昭和 9 年) 日本プラスチック工業株式会社 代表取締役社長 浅見 好邦 本社 東京都荒川区荒川4丁目53番2号 〒116-0002 電話 03(3807)8651番(代表) http://www.nippla-web.co.jp</p>	<p>電話 〒333-0801 埼玉県川口市東川口四丁目三十一番四 〇四八(二一九)一三五一 HARMO 株式会社 ハーモ 代表取締役社長 濱 秀明</p>	<p>〒900-8157 福島県福島市蓬萊町一丁目一一一 福島県プラスチック工業会 会長 佐藤 正幸</p>
<p>FBK FBKホールディングス株式会社 富士部品工業株式会社 代表取締役社長 松崎 友康 〒373-8501 群馬県太田市脇屋町997 番地14 TEL0276-31-2311</p>	<p>電話 〒300-0000 茨城県稲敷市幸田六七七 〇二九九(七九)二二二四 不二プラスチック株式会社 代表取締役 池下 龍一郎</p>	<p>古川化学工業株式会社 代表取締役社長 古川 雅一 〒130-0024 東京都墨田区菊川二丁目十四番二号 電話 03(3631)6655番 03(3634)3551~3番 FAX 03(3634)3554番</p>
<p>フルブラ 代表取締役 矢後 史彦 株式会社フルブラ 〒348-0038 埼玉県羽生市小松台2-705-16 TEL 048-562-2680</p>	<p>プラモール精工 代表取締役社長 脇山 高志 〒981-3351 宮城県富谷市鷹乃杜4丁目3-5 TEL : 022-348-1250</p>	<p>電話 〒950-0021 東大阪市高井田本通り二丁目三十一番 〇六(六七八)二二二八 株式会社 ホーライ 代表取締役 鈴木 雅之</p>
<p>MATSUI 株式会社 松井製作所 代表取締役 松井 宏信 〒141-0032 東京都品川区大崎1-6-4 新大崎勤業ビル9階 tel:03-5436-3521 fax:03-3495-5331 URL http://matsui.net</p>	<p>村上天明堂化成 代表取締役社長 石垣 昌之 〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル南館3階 TEL 03-6273-4120</p>	<p>muratec 取締役営業本部長 花田 元生 ムラテックフロンティア株式会社 本社 〒612-8686 京都市伏見区竹田向代町136 電話:075-672-8257 FAX:075-672-8307 東日本支店 〒330-0802 埼玉県さいたま市大宮区宮町4-85-1 電話:048-649-6139 FAX:048-649-5123</p>

<p>プラスチック成形用金型設計・製作</p> <p>明輝の金型</p> <p>株式会社 明輝</p> <p>代表取締役社長 黒柳 貴宏</p> <p>〒243-0807 神奈川県厚木市金田800 厚木工場 TEL. 046-224-2251 〒243-0807 神奈川県厚木市金田1030 神奈川工場 TEL. 046-224-1711 〒021-0922 岩手県一関市東台14-67 一関工場 TEL. 0191-26-0775 海外工場 マレーシア・メキシコ・ タイ・アメリカ</p>	<p>PE&E 山下電気株式会社</p> <p>代表取締役社長 山下 慎一郎</p> <p>〒140-0004 東京都品川区南品川3-6-33 TEL. (03) 3740-2401 URL: https://www.yamashita-denki.co.jp</p>	<p>PLASTICS WORLD YAMASO</p> <p>増田 英輔 代表取締役社長</p> <p>山宗株式会社 関東事業部</p> <p>東京都千代田区内神田2-15-2 内神田DNKビル6F 〒101-0047 TEL. 03-5297-7987 FAX. 03-5297-7979 http://www.yamaso.co.jp/</p>
<p>YUSHIN</p> <p>YUSHIN 株式会社</p> <p>代表取締役社長 小谷 高代</p> <p>■本社 〒601-8205 京都市南区久世殿城町555番地 電話 075(933)9555 FAX 075(934)4033 □東日本統括営業所 〒331-0811 さいたま市北区吉野町2-179-11 電話 048(665)2921 FAX 048(665)2927</p>	<p>Leadence</p> <p>株式会社リーデンス</p> <p>代表取締役社長 肥後 武展</p> <p>本社 埼玉県入間郡三芳町大字北永井722 〒354-0044 電話 049 (259) 1161(代)</p>	<p>東プラ健保は加入員の健康づくりを 推進しています。</p> <p>東日本プラスチック健康保険組合</p> <p>理事長 小林 達夫 専務理事 佐藤 栄一 常務理事 森 秀樹</p> <p>〒111-0052 東京都台東区柳橋1-1-4 電話 03-3862-1051(代)</p>
<p>東日本プラスチック製品工業協同組合</p> <p>～今後とも、会員企業のお役に立つよう 下記の事業に積極的に取組んでまいります～</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各種ユニフォーム・事務服等 ○ETC カード事業 ○PL 保険、団体生命保険 ○タオル管旋、保存食、精米機他 <p>上記事業を一般社団法人東日本プラスチック製品工業協会と連携して実施しています。ご用命は下記へ。</p> <p>東日本プラスチック製品工業協同組合 代表理事 嶋田 修二 電話 03-3541-4321 Fax 03-3541-4324</p>	<p>全日本プラスチック製品工業連合会</p> <p>会長 原 直 宏 副会長 住 田 嘉 久 副会長 児 玉 康 彦 副会長 岩 崎 能 久 専務理事 笹 岡 健 治</p> <p>〒104-0045 東京都中央区築地3-12-5 (築地小山ビル1F) 電話 03-3541-4321 Fax 03-3541-4324 URL http://www.jpjf.gr.jp</p>	

令和八年

謹んで新春のお慶びを申し上げます

明けましておめでとうございます

難題打破 (HP に掲載)

日本初導入「スイスの BUSS コンペオ」特殊押出機

- バイオマスプラスチック・生分解性プラスチックを低温で昆練り加工できます。
- コンパウンド加工時に発熱でお困りの方はご相談ください。



アルバファインテック株式会社

代表取締役 武田 久徳

【本社工場】

〒300-2746
茨城県常総市鴻野山1765-1
電話 0297-30-5171
FAX 0297-30-5173
URL <http://alba-ft.com/>

【栃木工場】

〒329-0524
栃木県河内郡上三川町多功2568-10
電話 0285-51-2311
FAX 0285-51-2312

謹 賀 新 年

旧年中は格別のご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。本年が皆様にとってより良い年となりますことを祈念申し上げます。

当基金は、プラスチック製品の製造・加工業界で働く皆様の老後生活の充実を目的に設立された企業年金基金です。

退職給付制度の見直しをお考えの事業所様は、是非とも当基金へのご加入をご検討くださいますようお願い申し上げます。

トープラ企業年金基金

理事長 時田 周明

常務理事 江藤 清隆

〒103-0004 東京都中央区東日本橋 1-5-13
東京ニットファッション健保会館 2階 TEL 03-5809-1581

令和八年

謹んで新春のお慶びを申し上げます